

令和5年度事業報告

1 県民会議の運営

1-1 県民会議運営事業

(1) 総会、理事会及び常任理事会等の開催

① 総会 令和5年6月1日

<協議事項>

- ・ 令和4年度事業報告、収支決算報告及び監査報告
- ・ 令和5年度活動方針、事業計画及び収支予算の審議
- ・ 役員の選任

② 理事会 令和5年5月16日

<協議事項>

- ・ 役員の補欠選任について
- ・ 令和5年度総会の開催及び提出議題について

③ 常任理事会

第1回 令和5年9月12日

- ・ 令和5年度県民会議表彰者の選考について
- ・ 令和5年度青少年健全育成県民大会について

第2回 令和6年3月15日

- ・ 令和5年度事業実績及び収支決算見込みについて
- ・ 令和6年度活動方針案、事業計画案及び収支予算案
- ・ 役員の補欠選任について

④ 監事監査 令和5年4月28日

- ・ 令和4年度収支決算に係る会計監査

(2) 運営基盤の強化

新規会員の加入促進を図り、会員の拡大に努めた。特に、県しあわせ子育て応援部の協力を得て、県職員の新規会員拡大に取り組んだ。

- ・ 7月10日付けでしあわせ子育て応援部長、県民会議会長連名で、県各部署長あて会員加入依頼。
- ・ 8月8日の県庁副主幹会議において、会員加入の各部署への周知をお願い。
- ・ 12月・3月発行の情報機関誌とともに、会費納入のお願いを同封。
- ・ いじめ防止ポスターに会員募集のQRコードを掲載。
- ・ 各種会議、イベント等での「入会のお願い」チラシを配布。

(単位：人・団体)

会員種別 総数	令和4年度	入会者数	退会者数	令和5年度
特別会員(団体)	7			7
賛助会員(人・団体)	95	1	2	94
団体会員(団体)	131		4	127
個人会員(人)	1,083	36	78	1,041
合計(人・団体)	1,316	37	84	1,269

(3) 関係団体・こども家庭庁等が主催する会議、研究会等への参加

- ・ 令和5年6月19日
緑の少年団連盟総会（山形県緑の少年団連盟、村山総合支庁）
- ・ 令和5年6月20日
山形市青少年育成市民会議総会（山形市青少年育成市民会議、山形市役所）
- ・ 令和5年9月30日
庄内青少年健全育成研修会（庄内地方青少年育成連絡協議会、遊佐町生涯学習センター）
- ・ 令和5年10月8日
山形県PTA研修大会西置賜大会（山形県PTA連合会、長井市民文化会館）
- ・ 令和5年10月21日
山形県子ども会育成連合会創立50周年記念式典（山形県子ども会育成連合会、山形国際ホテル）
- ・ 令和5年11月2日
防犯リーダー研修会（山形県防犯協会連合会、国際交流プラザ）
- ・ 令和5年11月30日
麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動山形大会（厚生労働省等、山形テルサ）

2 県民運動の総合推進

2-1 県下全域における県民運動の推進（県民運動総合推進事業）

(1) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の推進

青少年育成市町村民会議、地区連絡協議会等が行う「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を推進するため、

- ① 地域実践活動（あいさつ・見守り運動、環境づくり懇談会、地域社会環境実態調査等）
- ② 連携体制づくり（青少年育成推進員の研修、市町村民会議連絡会議開催等）
- ③ 地区青少年育成連絡協議会が市町村民会議等と共同して行う運動に対する支援を行った。

【地区別助成状況】

(単位：千円)

	村山	最上	置賜	庄内	計
地域社会環境づくり推進事業助成額	338	218	228	313	1,097

(2) 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の推進（市町村等活動支援事業）

地区青少年育成連絡協議会及び市町村民会議等地域団体の機能強化、活動・取組みに対する支援を行った。

- ・ 推進会議の開催、関係団体等との連携強化、講演、勉強会等の開催
- ・ ポスター・リーフレット等の作成・配布、街頭啓発活動 等

【地区別助成状況】

(単位：千円)

	村山	最上	置賜	庄内	計
“いじめ・非行をなくそう”	620	298	387	445	1,750
やまがた県民運動推進事業助成額	29	41	53	61	184

※下段は「児童生徒と地域の大人の対話会開催経費」

上段はそれ以外の事業費

(3) “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動標語の募集、選考

いじめの防止・根絶に向け、青少年育成団体・機関等が連携して児童生徒からいじめ根絶に向けた標語を募集、優秀作品を掲載したポスター等を作成・配布して周知し、県民に「いじめ・非行をなくそう」という意識の醸成を図り、いじめの防止・根絶に取り組んだ。

- ・ 県内各小中学校、特別支援学校において「いじめ・非行防止」に係る標語を募集
- ・ 期間：令和5年7～8月
- ・ 選抜：各地区青少年育成連絡協議会において、地区毎に優秀作品を選考。（9月）
- ・ 応募総数：327校、53,068点

【各地区の優秀標語作品】

〈村山地区〉

その文章 スマホの向こうで 泣いてるよ

作者：河北町立河北中学校 3年 太田 琴海

応募学校151校 応募数 21,821点

〈最上地区〉

守りたい 私の言葉で あなたの笑顔

作者：大蔵村立大蔵中学校 3年 門脇 里奈

応募学校29校 応募数 3,614点

〈置賜地区〉

「どうしたの」「だいじょうぶ」 やさしい声が 心をひらく

作者：白鷹町立荒砥小学校 4年 安部 晏理

応募学校67校 応募数 12,393点

〈庄内地区〉

助けたい 自分の勇気で 変わる未来

作者：庄内町立余目中学校 2年 梅木 愛咲

応募学校80校 応募数 15,240点

(4) スローガン、ポスターデザインの募集

各高等学校生徒会等に対していじめ防止スローガンの作成を依頼、併せてポスターデザインを募集した。

【ポスターデザイン最優秀作品】



作者：山形県立山形中央高等学校 2年
清野 大志

2-2 セミナー・対話集会・研修等開催事業

(1) いじめ・非行防止セミナー開催事業

県内の青少年育成活動者が一堂に会する青少年健全育成県民大会の場において、有識者による講演を開催するほか、地域の青少年育成活動の実践者による事例発表など、いじめや非行を防ぐための啓発セミナーを開催した。

- ・ 期日：令和5年10月29日（青少年健全育成県民大会において開催）
- ・ 少年の主張発表：酒田第一中学校3年 富樫 蒼汰
(第62回山形県少年の主張大会 最優秀)
- ・ 事例発表：発表者 菅 孝 氏（最上町青少年育成町民会議会長）
発表テーマ「最上町の青少年健全育成活動について」
- ・ 講演：講師 東京家政大学 人文学部 教授 杉山 雅宏 氏
演題 「青少年の心の声を聴かせていただく」

～今どきの若者とのつながりを模索して～

(2) 児童・生徒と地域の大人の対話会開催事業

各地区青少年育成連絡協議会等が推進主体となり、管内の各青少年育成市町村民会議や各学校との連携のもと、県内4地区において、それぞれの地域の生徒と大人による、いじめ・非行の防止、根絶に向けた意見交換を行う対話会を実施した。

〈村山地区〉

主催：上山地区少年補導連絡会、上山警察署、山形県警察本部人身安全少年課少年サポートセンター村山

期日：令和5年11月20日 県立上山明新館高等学校

対象：中学生、高校生、青少年育成関係者等 43人

テーマ：「SNSでの非行・被害を考える」

〈最上地区〉

主催：最上地区青少年育成連絡協議会、最上総合支庁

期日：令和5年12月10日 新庄市民プラザ

対象：高校生、青少年育成関係者等 44人

テーマ：「これからの社会をたくましく生き抜いていくために」

〈置賜地区〉

主催：南陽市青少年育成市民会議、南陽市青少年育成推進委員会、置賜地区青少年育成連絡協議会

期日：令和5年12月16日 南陽市沖郷公民館多目的ホール

対象：高校生、青少年育成関係者等 約40人

テーマ：「STOP いじめ みんなの笑顔のために」

〈庄内地区〉

ア 主催：鶴岡市地区少年補導員連絡会、鶴岡警察署

期日：令和5年12月18日 県立鶴岡工業高等学校

対象：高校生、青少年育成関係者等 約60人

テーマ：「ちょっと先の〇〇について考えよう！」

➢ 〇〇には「人生」「地域」「仕事」が入り、話し合うグループで選択

イ 主催：酒田市青少年を伸ばそう市民会議

期日：令和6年1月19日 観音寺コミュニティセンター

対象：酒田市立八幡小学校6年生ほか

テーマ：「第三日曜日は家庭の日」の啓発チラシを活用した家族間のコミュニケーションづくりと、家族揃って地域活動に参加する誘いによる次世代を担う子ども達の社会力づくりをめざす」

(3) インターネット利用に関する研修会の開催

青少年のインターネット利用問題に関する専門家を講師として、地域で青少年育成活動に取り組んでいる方や行政及び関係団体の関係者等を対象とした研修会を開催し、SNSをはじめインターネットに起因するいじめ・トラブル、ネット依存、サイバー犯罪、性被害が拡大している中、相談を受け、指導する立場の方がインターネット環境の進展に十分に対応できていない現状を踏まえ、具体的な事例や対応方法など実践的な研修を行うことでおとなの対応力、指導力の向上を図る

- ・ 期日：令和5年11月28日
- ・ 場所：県庁講堂 参加：約50人
- ・ 講師：山形県消費生活センター 消費生活相談員 安達 美紀 氏
- ・ 内容：若者のインターネットトラブルの現状と対策

3 青少年育成意識の醸成、環境づくり推進

3-1 青少年育成に関する県民意識の醸成、青少年のための社会環境づくりの推進（青少年育成意識醸成・環境づくり推進事業）

(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動の推進

青少年の健全育成といじめ・非行防止交通事故防止、海・山・川での事故防止等を図るため、明るいやまがた夏の安全県民運動を推進し、運動初日には運動の広報と気運の醸成を図る出発式を実施した。

期日：令和5年7月21日 出席者 約60人

運動の実施時期は令和5年7月21日から8月20日までの1ヶ月間
（青少年の非行・被害防止全国強調月間）

場所：山形県庁講堂

(2) 青少年健全育成県民大会の開催

期日：令和5年10月29日

場所：新庄市民プラザ

参加人員：青少年育成関係者等 約202人

内容：

- ・ 県民会議表彰(個人、団体)【敬称略】
【模範活動青少年団体】(1団体)
寒河江市高校生ボランティアサークル「チェリース」
【青少年育成功労者】(3人)
中川ふき(寒河江市)、京野秀明(新庄市)、高橋捷夫(米沢市)
【青少年健全育成県民運動協力者】(2人)
梅津晶一(白鷹町)、田賀幸二(酒田市)
- ・ “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動標語等の表彰【敬称略】
【優秀標語作者の表彰】

村山地区	河北町立河北中学校	3年	太田	琴海
最上地区	大蔵村立大蔵中学校	3年	門脇	里奈
置賜地区	白鷹町立荒砥小学校	4年	安部	晏理
庄内地区	庄内町立余目中学校	2年	梅木	愛咲

【ポスターデザイン最優秀作者の表彰】

山形県立山形中央高等学校 2年 清野 大志

- 大会宣言採択
- いじめ・非行防止セミナー（再掲）

(3) 青少年のための環境づくり懇談会の開催

青少年に関する業界や団体担当者による懇談を行い、青少年にとって好ましい社会環境づくりの推進を図った。

日 時：令和5年11月28日

場 所：県庁講堂

出席者：関係業界団体、青少年育成関係団体、行政関係者 57人

内 容：

[報 告]

- 県内の少年補導及び被害の概況について（警察本部生活安全部人身安全少年課）
- 風俗環境の現状と対策について（警察本部生活安全部生活環境課）
- サイバー犯罪の現状と対策について（警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課）
- 薬物乱用の現状等について（健康福祉部健康福祉企画課）
- 本県におけるいじめの現状について（教育局高校教育課）
- “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動について
(山形県青少年育成県民会議)

[懇 談]

- 各業界の青少年に関する取組みの情報交換及び質問等
- 青少年のための環境づくりに関する申し合わせ事項について

(4) 山形県少年の主張大会の開催

期 日：令和5年9月24日

場 所：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」

発表者：県内各地区から選出された15人

入賞者〔敬称略〕：最優秀 酒田市立第一中学校3年 富樫 蒼汰
優 秀 米沢市立第三中学校3年 袖山 紗希
// 天童市立第四中学校3年 国井 心羽
優 良 酒田市立第三中学校3年 齋藤 真緒
// 酒田市立東部中学校2年 齋藤 茉夏花

※ 最優秀、優秀の方々の主張はDVDに収録し、県の4教育事務所に配置。研修等の機会に活用いただけるよう、DVDの貸出を行うこととした。

※ 最優秀の富樫 蒼汰さんは令和5年11月12日に開催された全国大会において、文部科学大臣賞を受賞した。

4 県民に対する広報啓発

4-1 青少年健全育成に関する県民意識の啓発（青少年育成広報啓発事業）

(1) 機関紙等の発行

機関紙・情報誌「見守る目・育む芽」等の作成及び配布

実施主体：県及び山形県青少年育成県民会議

実施時期：年間で2回（12月・49号、3月・50号）発行

配布部数：各24,500部

(2) 県民運動啓発ポスター・標語による運動の啓発（県民運動普及啓発事業）

いじめ防止ポスターによる啓発

県内高校生から募集したポスターデザインの中から優秀作品を選び、これに優秀標語4点を配したポスターを作成、県内各小中学校、高等学校、青少年育成・教育関係機関・団体等に配布した。

作成時期：令和5年10月

作成部数：1,100部

(3) 県内民間企業等連携啓発活動（県民運動普及啓発事業）

11月12日モンテディオ山形ホームゲームで山形県オレンジリボンキャンペーンと合同で啓発物品の配布など広報啓発活動を実施



(4) 防犯広報ポスター・標語の募集及び選定

防犯広報ポスター・標語の募集及び審査会の開催

応募数：ポスター 1,791 点、標語 4,330 点

内容：各共催団体による審査を実施

※(公社)山形県防犯協会連合会、(株)山形新聞社、山形放送(株)との共催



小学生の部 最優秀
高畠町立屋代小学校 5年
佐藤 愛渚



小学生の部 最優秀
南陽市立宮内中学校 2年
佐藤 暁

令和5年度防犯標語入賞者

第1部(小学生の部)

区分	標語	学 校	
		学 年	氏 名
最 優 秀	非行の芽 気づきつみとる 地域の目	西川町立西川小学校 5年	前田 結彩

第2部(中学生の部)

区分	標語	学 校	
		学 年	氏 名
最 優 秀	闇バイト 一線こえれば 戻れない	酒田市立第四中学校 2年	久木原 陽

第3部(高校生の部)

区分	標語	学 校	
		学 年	氏 名
最 優 秀	痴漢とか ほだなことして めくさいぞ	山形県立北村山高等学校 3年	堀江 星琉

(5) 「家庭の日」の普及啓発

「家庭の日」の啓発及び情報提供

- ・ 県民運動情報誌「見守る目・育む芽」、県民会議ホームページ等に掲載して啓発を図った。
- ・ 啓発用チラシをイベント等で配布、山形県統計協会発行のやまがた県民手帳の予定表に「家庭の日」の掲載



(6) 県民運動の啓発及び情報提供

- ・ 県民会議のホームページに県民会議の主要な取り組みや事業の成果等を掲載し情報を発信

- ・ 各種イベント及び会議において、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動等の啓発用幟を会場に掲示
- ・ 「エフエム山形」キッズガードキャンペーンと連携した県民会議の活動紹介、県民運動に資する事業の後援等

保護者の方へ

子供を守る情報を受け取っていますか？

皆様では、不審者や防犯に役立つ安全安心情報を「伊勢崎地区110ネットワーク」にてメール配信しております。どこまでも無料で配信することからますます、登録をお願いします。

警察からの安全安心情報をメールで受信しよう！

やまがた110ネットワークの登録は市のQRコードを撮影して登録メールを受信！

防犯ブザーを上手に使いましょ

防犯ブザーには、自分で大声を出せない状況でも、大きな音で「周りに危険を知らせる」、「逃げろ」といった心の声を伝えるなどの効果があります。方角のととにしっかりと活用するために大切なポイントをご紹介します。

防犯ブザーは必要に応じてすぐに身の危険を知らせるために使います。

① 危険は切れていないが、ブザーがきちんとなるのを確認的に確認を行います。

② 子どもと一緒に「防犯ブザー」を使う練習をしましょう。

RhythmStation キッズガードキャンペーン

\ 新入学生のための /

あんぜん・あんしん ガイドブック2023



Rhythm Station

企画制作 株式会社エフエム山形

後援：山形県教育委員会 協賛：山形県警察本部 / 山形市防犯協会連合会
協力：山形県教育庁スポーツ推進課

協賛企業

酒田天栄ガス株式会社	オーリーワックス	株式会社プロット
J&A山形	株式会社中央セメント	株式会社神保
富士フィルム山形株式会社	有限会社花石製	株式会社能登サンプライズ
株式会社山形タクシー	有限会社上林製	株式会社三友エレクトロニクス
山形県民共済	山形県学芸	株式会社センテック
山形県青少年育成県民会館	株式会社でん六	株式会社大塚江崎製菓
長瀬入生物産加工センター	株式会社アールエス	文興の園くまがい
さくらや製粉	オアシス製菓石巻	新井製粉のたけもと山形製菓
株式会社山形製粉所	アグリスケイム	ECOシステムビルド
土曜朝のランドセル	有限会社山形製菓	有限会社山形食品工業
株式会社エヌエス工業	株式会社メガネットワーク	株式会社東洋印刷製紙所
有限会社石炭ワークス	パルナスパビュー株式会社	株式会社Ineroho
株式会社東北印刷製	新庄のり店ラフォーレ	有限会社レディーズクリニック

- ・ 県庁1階県民ロビー（ジョンダナホール）において、11月が「子供・若者育成支援推進強調月間」になっていることから、若者支援やいじめ・非行をなくそうやまがた県民運動についての取組みも併せて紹介

5 事務局長設置事業（事務局長の氏名、設置年月日及び担当業務）

(1) 事務局長（専任）の設置

- ① 氏名 松井 浩司
- ② 設置年月日 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ③ 担当業務

- ・ 総会・理事会の開催に関すること
- ・ 県民会議の予算・決算に関すること
- ・ 表彰に関すること
- ・ “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の総括に関すること
- ・ 会員の確保に関すること
- ・ 青少年健全育成県民大会の総括に関すること
- ・ 青少年育成情報ホームページの運営に関すること